



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月12日

上場会社名 あすか製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4886 URL <https://www.aska-pharma-hd.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山口 隆
問合せ先責任者 （役職名）グループ経営企画部長 （氏名）市川 学 TEL 03-5484-8366
定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月25日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月20日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期	64,139	2.1	5,331	△18.0	5,107	△21.7	5,101	△32.4
2024年3月期	62,843	3.9	6,500	27.3	6,522	24.6	7,545	78.0

（注）包括利益 2025年3月期 5,222百万円（△35.7％） 2024年3月期 8,127百万円（35.8％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年3月期	179.95	—	8.0	5.3	8.3
2024年3月期	266.51	—	13.0	7.3	10.3

（参考）持分法投資損益 2025年3月期 △53百万円 2024年3月期 △41百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期	100,534	69,195	65.0	2,302.61
2024年3月期	90,745	61,930	68.2	2,186.10

（参考）自己資本 2025年3月期 65,310百万円 2024年3月期 61,930百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	2,485	△6,124	△2,956	10,603
2024年3月期	1,486	1,706	△3,943	16,738

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	1,133	15.0	1.9
2025年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,560	30.6	2.5
2026年3月期（予想）	—	27.00	—	28.00	55.00		30.0	

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	75,000	16.9	6,800	27.5	6,800	33.1	5,200	1.9	183.44

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Company他 1 社、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 |

2025年3月期	28,763,199株	2024年3月期	30,563,199株
2025年3月期	399,476株	2024年3月期	2,233,957株
2025年3月期	28,347,810株	2024年3月期	28,313,370株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

2. 当社は、2025年5月19日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、決算説明会開始までに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本的方針および当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結損益計算書に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. 補足情報	18
(1) 事業会社の主力品の売上高	18
(2) 臨床開発の状況	19
(3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費	20

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、国内経済は堅調な企業業績等から緩やかな回復基調にあるものの、世界的な金融引き締めに伴う影響や地政学リスクの高まり、米国の関税政策の動向等、経済環境は引き続き不確実性が高い状況が続いております。当社グループの中核となる医薬品事業におきましては、毎年の薬価改定等、継続的な医療費抑制政策の影響を受け引き続き厳しい事業環境にあります。このような状況下においても、当社グループの事業は重点品目の伸長等により、前年度を上回る売上高となりました。

当連結累計期間における当社経営成績は以下のとおりであります。

	2024年3月期 (百万円)	2025年3月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	62,843	64,139	1,296	2.1%
営業利益	6,500	5,331	△1,168	△18.0%
経常利益	6,522	5,107	△1,414	△21.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,545	5,101	△2,444	△32.4%

当連結会計年度の当社グループの売上高は前年同期から1,296百万円増加し、64,139百万円となりました。これは主に産婦人科領域の製品群等が堅調に推移した医療用医薬品事業に加えて、飼料添加物製品群が伸長したアニマルヘルス事業の増収によるものであります。また、売上原価率が前年同期比0.1%低下し、売上原価が32,803百万円となったことにより、売上総利益は前年同期から670百万円増の31,335百万円となりました。一方で、販売費及び一般管理費は研究開発の進展による費用増等の影響から、前年同期から1,839百万円増の26,003百万円となり、その結果、営業利益は前年同期から1,168百万円減の5,331百万円となりました。経常利益につきましては、営業外収益を398百万円、営業外費用を622百万円計上したことから5,107百万円となりました。また、特別利益として投資有価証券の売却益を127百万円、持分法適用関連会社であるベトナム製薬企業Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyの連結子会社化に伴う子会社化関連損益を1,257百万円計上する一方、無形固定資産の減損に伴う特別損失を300百万円計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は5,101百万円となりました。これを前年同期比で見ると、前期に投資有価証券の売却に伴う特別利益を計上した反動から2,444百万円の減益となります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業は薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。製品別にみると、産婦人科領域において子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」が10,531百万円（前年同期比6.3%増）と順調に伸長したほか、2022年6月から販売を開始した月経困難症治療剤「ドロエチ」が7,502百万円（同22.5%増）と前年に続き大きく増加しました。さらに内科領域の主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーゼン」が8,113百万円（同3.2%増）、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も6,455百万円（同10.1%増）と堅調に推移しました。泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」が4,003百万円（同9.6%減）となりました。

以上の結果、売上高は56,655百万円（同1.1%増）、セグメント利益は6,349百万円（同17.0%減）となりました。

②アニマルヘルス事業

動物用医薬品、飼料添加物等の製品を販売しているアニマルヘルス事業においては、飼料添加物等が増収に転じたことに加えて、動物用医薬品の増収により、売上高は7,246百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は300百万円（同53.7%増）となりました。

③その他事業

臨床検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業については、売上高は237百万円（前年同期比45.8%増）、セグメント利益は2百万円（前年同期は125百万円の損失）となりました。

④研究開発の状況

研究開発につきましては、あすか製薬株式会社が重点領域と位置付ける内科・産婦人科・泌尿器科領域を中心とした創薬研究および臨床開発を推進すると共に、導出入活動、事業提携戦略も積極的に展開しております。また、新たな創薬プラットフォームとしてイオンチャネルに対する創薬基盤技術を導入し、重点領域に加えて新領域でのアンメット・メディカル・ニーズにも挑戦してまいります。

臨床開発につきましては、避妊を適応症として開発中のLF111（ドロスピレノン）について、2025年3月期第1四半期に製造販売承認申請をいたしました。また「4. 補足情報（2）臨床開発の状況」に記載のとおり、現在5つの臨床試験を進行中であります。子宮筋腫を適応症として開発中のAKP-022（レルゴリクス配合剤）は2024年12月からPhaseⅢ試験を開始しました。AKP-021（mPGES-1阻害剤）は2025年1月にPhaseⅠを開始しています。また、月経困難症を適応症として導入したLPRI-CF113（ドロスピレノン）は2025年3月からPhaseⅠ/Ⅱ試験を開始しております。

開発準備段階にあるテーマとしては、2024年5月に武田薬品工業からAKP-022（レルゴリクス配合剤）の子宮内膜症に関するライセンス契約を締結し、開発準備中となっております。加えて、イオンチャネル創薬技術の導入による創薬基盤の強化、オープンイノベーション活用による創薬シーズの獲得等により複数テーマが非臨床段階にあります。

導入・提携活動においては2024年9月にテックドクターと月経困難症に関する共同研究を開始しました。また、2025年1月にVeneno Technologiesと新規イオンチャネル治療薬開発のための共同研究契約を締結しています。

以上の取り組みから、2025年3月期の研究開発費は前年同期から2,302百万円増加し、7,031百万円となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9,789百万円増加し、100,534百万円となりました。これは主に、投資有価証券および現金及び預金が増加しましたが、建設仮勘定およびのれんが増加したためであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,523百万円増加し、31,339百万円となりました。これは主に、買掛金および短期借入金が増加しましたが、未払法人税等が減少したためであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,265百万円増加し、69,195百万円となりました。これは、非支配株主持分および親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

自己資本比率は全連結会計年度末から3.2ポイント低下し65.0%となっております。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ6,135百万円減少し、10,603百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、2,485百万円（前年同期は1,486百万円の増加）となりました。これは主に、法人税等の支払額の減少はありましたが、税金等調整前当期純利益の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、6,124百万円（前年同期は1,706百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、2,956百万円（前年同期は3,943百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

（4）今後の見通し

当社グループは2021年度からスタートした中期経営計画において、スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニーを目指し、2025年度にグループ全体で売上高700億円、営業利益率8%、ROE8%の目標数値を実現することを掲げています。「（1）当期の経営成績の概況」に記載した通り、現時点において堅調な業績を維持しております。現中期経営計画の最終年度となる次期におきましては、引き続き事業の成長および目標の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。また、持分法適用関連会社であるベトナム製薬企業Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyの連結子会社化により、海外事業の展開をさらに加速させていきます。

2026年3月期の通期連結業績予想について

（単位：百万円）

	当連結会計年度 (2025年3月期)	翌連結会計年度 (2026年3月期)	増減額	増減率（%）
売上高	64,139	75,000	10,860	16.9%
営業利益	5,331	6,800	1,468	27.5%
経常利益	5,107	6,800	1,692	33.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,101	5,200	98	1.9%

当社グループで事業の主力となる医療用医薬品事業においては、毎年薬価改定の影響はあるものの、今回の中間年改定における基礎的医薬品等の最低薬価の引き上げ、産婦人科領域製品の伸長等が業績に寄与するものと見込んでおります。また、ベトナム製薬企業Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyの連結子会社化に伴う財務の取り込み等により、連結売上高は75,000百万円（前年同期比16.9%増）を見込んでおります。利益面につきましては、売上高の増加等を受けて営業利益は6,800百万円（同27.5%増）、経常利益は6,800百万円（同33.1%増）と増益を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益は5,200百万円（同1.9%増）と想定しております。

（5）利益配分に関する基本的方針および当期・次期の配当

当社は、長期的な事業展開に備えた資金確保等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当を継続することを基本方針としております。また内部留保につきましては、研究開発投資、生産設備投資等、将来の持続的成長に向けた企業体質の強化のために活用しております。一方で収益に応じた適正な利益還元を行うことも、経営の重要課題であると認識しており、2023年11月に公表した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に基づき、業績連動の利益配分方式に移行し、連結配当性向 30%を目安とすることとしております。

上記の方針に基づき、直近の業績推移を踏まえ、当期の期末配当金につきましては1株につき30円として、すでに実施いたしました中間配当金25円と合わせて年間配当金は1株あたり55円とさせていただきます予定です。

また次期の利益還元につきましては、2026年3月期の年間配当金として、1株あたり55円（中間配当27円、期末配当28円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,738	10,603
売掛金	15,579	15,184
有価証券	3,500	555
商品及び製品	12,578	14,757
仕掛品	466	544
原材料及び貯蔵品	7,358	11,032
その他	2,922	5,463
貸倒引当金	—	△94
流動資産合計	56,143	58,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,005	11,708
減価償却累計額	△5,813	△6,610
建物及び構築物（純額）	4,192	5,097
機械装置及び運搬具	15,488	17,168
減価償却累計額	△14,248	△15,047
機械装置及び運搬具（純額）	1,240	2,121
土地	4,249	4,255
建設仮勘定	1,101	6,550
その他	3,762	3,941
減価償却累計額	△3,283	△3,258
その他（純額）	479	683
有形固定資産合計	11,263	18,709
無形固定資産		
のれん	—	4,361
その他	2,877	2,631
無形固定資産合計	2,877	6,993
投資その他の資産		
投資有価証券	15,654	12,327
繰延税金資産	2,696	2,312
その他	2,127	2,162
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	20,461	16,784
固定資産合計	34,601	42,487
資産合計	90,745	100,534

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,060	6,411
電子記録債務	3,295	2,735
短期借入金	300	2,521
1年内返済予定の長期借入金	4,680	1,940
未払金	5,794	6,194
未払法人税等	2,896	173
賞与引当金	1,151	1,210
役員賞与引当金	74	73
その他	1,715	1,617
流動負債合計	23,968	22,879
固定負債		
長期借入金	4,505	6,441
退職給付に係る負債	—	206
その他	341	1,811
固定負債合計	4,846	8,459
負債合計	28,815	31,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,848	—
利益剰余金	56,372	59,545
自己株式	△3,287	△704
株主資本合計	56,130	60,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,790	4,853
為替換算調整勘定	424	—
退職給付に係る調整累計額	584	417
その他の包括利益累計額合計	5,799	5,271
非支配株主持分	—	3,885
純資産合計	61,930	69,195
負債純資産合計	90,745	100,534

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	62,843	64,139
売上原価	32,178	32,803
売上総利益	30,664	31,335
販売費及び一般管理費	24,164	26,003
営業利益	6,500	5,331
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	330	286
その他	79	105
営業外収益合計	414	398
営業外費用		
支払利息	40	51
持分法による投資損失	41	53
為替差損	51	123
固定資産処分損	13	106
休止固定資産費用	91	166
その他	154	121
営業外費用合計	392	622
経常利益	6,522	5,107
特別利益		
子会社化関連損益	—	1,257
投資有価証券売却益	3,340	127
特別利益合計	3,340	1,384
特別損失		
減損損失	—	300
特別損失合計	—	300
税金等調整前当期純利益	9,862	6,192
法人税、住民税及び事業税	3,514	750
法人税等調整額	△1,197	341
法人税等合計	2,316	1,091
当期純利益	7,545	5,101
親会社株主に帰属する当期純利益	7,545	5,101

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
当期純利益	7,545	5,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	60
退職給付に係る調整額	362	△167
持分法適用会社に対する持分相当額	16	228
その他の包括利益合計	581	121
包括利益	8,127	5,222
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	8,127	5,222

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,197	1,847	49,619	△3,350	49,315
当期変動額					
剰余金の配当			△792		△792
親会社株主に帰属する当期純利益			7,545		7,545
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		62	62
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	0	6,752	62	6,815
当期末残高	1,197	1,848	56,372	△3,287	56,130

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,590	405	222	5,218	54,533
当期変動額					
剰余金の配当					△792
親会社株主に帰属する当期純利益					7,545
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					62
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	200	18	362	581	581
当期変動額合計	200	18	362	581	7,396
当期末残高	4,790	424	584	5,799	61,930

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,197	1,848	56,372	△3,287	56,130
当期変動額					
剰余金の配当			△1,275		△1,275
親会社株主に帰属する当期純利益			5,101		5,101
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		35		48	84
自己株式の消却		△2,535		2,535	-
利益剰余金から資本剰余金への振替		651	△651		-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	△1,848	3,173	2,583	3,908
当期末残高	1,197	-	59,545	△704	60,039

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	4,790	424	584	5,799	-	61,930
当期変動額						
剰余金の配当						△1,275
親会社株主に帰属する当期純利益						5,101
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						84
自己株式の消却						-
利益剰余金から資本剰余金への振替						-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	62	△424	△167	△528	3,885	3,356
当期変動額合計	62	△424	△167	△528	3,885	7,265
当期末残高	4,853	-	417	5,271	3,885	69,195

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,862	6,192
減価償却費	2,662	2,247
減損損失	—	300
退職給付に係る資産負債の増減額	△5,262	231
受取利息及び受取配当金	△335	△293
支払利息	40	51
為替差損益（△は益）	15	97
持分法による投資損益（△は益）	41	53
有形固定資産除売却損益（△は益）	2	0
投資有価証券売却損益（△は益）	△3,340	△127
売上債権の増減額（△は増加）	△370	1,203
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,713	△2,675
仕入債務の増減額（△は減少）	1,494	339
子会社化関連損益（△は益）	—	△1,257
その他	626	△180
小計	2,724	6,183
利息及び配当金の受取額	414	379
利息の支払額	△41	△51
法人税等の支払額	△1,611	△4,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,486	2,485
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	400	500
有価証券の取得による支出	△500	—
有形固定資産の取得による支出	△1,320	△2,960
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△133	△602
投資有価証券の取得による支出	△352	—
投資有価証券の売却による収入	4,230	252
関係会社株式の取得による支出	△1,464	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,189
その他	845	△1,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,706	△6,124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△3,138	△4,680
自己株式の純増減額（△は増加）	9	△0
配当金の支払額	△792	△1,275
その他	△22	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,943	△2,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△97
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△766	△6,692
現金及び現金同等物の期首残高	17,505	16,738
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	556
現金及び現金同等物の期末残高	16,738	10,603

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結損益計算書に関する注記）

※ 子会社化関連損益

子会社化関連損益1,257百万円は、Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyの子会社化に伴い計上した段階取得に係る利益13,741百万円および減損損失12,483百万円であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品等の製造・販売および輸出入等を中心に事業を展開しており、「医薬品事業」、「アニマルヘルス事業」および「海外事業」の3つを報告セグメントとしております。

「医薬品事業」は、主に医療用医薬品を製造・販売しております。

「アニマルヘルス事業」は、主に動物用医薬品、飼料添加物等の製品を製造・販売しております。

「海外事業」は、主に海外で医療用医薬品を製造・販売しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの追加）

当連結会計年度において、Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyを連結子会社化したことに伴い、報告セグメント「海外事業」を新たに追加しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業				
売上高						
外部顧客への売上高	56,016	6,664	162	62,843	—	62,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	64	64	△64	—
計	56,016	6,664	226	62,907	△64	62,843
セグメント利益又は 損失（△）	7,647	195	△125	7,717	△1,216	6,500
セグメント資産	45,034	3,514	39	48,588	42,157	90,745
その他の項目						
減価償却費	2,227	4	—	2,231	201	2,432

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

（1）セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,216百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

（2）セグメント資産の調整額42,157百万円は、各事業セグメントに配分していない全社資産であり、主に事業セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。

（3）減価償却費の調整額201百万円は、各事業セグメントに配分していない減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業	海外事業				
売上高							
外部顧客への売上高	56,655	7,246	-	237	64,139	-	64,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	88	88	△88	-
計	56,655	7,246	-	325	64,227	△88	64,139
セグメント利益又は 損失（△）	6,349	300	-	2	6,652	△1,321	5,331
セグメント資産	49,554	4,174	14,877	51	68,656	31,878	100,534
その他の項目							
減価償却費	1,693	3	-	-	1,696	192	1,889

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,321百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額31,878百万円は、各事業セグメントに配分していない全社資産であり、主に事業セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額192百万円は、各事業セグメントに配分していない減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：百万円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
武田薬品工業㈱	54,564	医薬品事業

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	ベトナム	合計
12,658	6,051	18,709

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
武田薬品工業㈱	55,485	医薬品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	医薬品事業	アニマルヘルス事業	海外事業	その他	合計	全社・消去	連結損益計算書計上額
減損損失	300	-	12,483	-	12,783	-	12,783

(注) 海外事業の減損損失は、連結損益計算書上、子会社化関連損益に含めて表示しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	医薬品事業	アニマルヘルス事業	海外事業	その他	合計	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	-	-	-	-	-	-	-
当期末残高	-	-	4,361	-	4,361	-	4,361

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,186.10円	2,302.61円
1株当たり当期純利益	266.51円	179.95円

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	7,545	5,101
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	7,545	5,101
期中平均株式数（千株）	28,313	28,347

従業員持株E S O P信託口が保有する当社株式を、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（前連結会計年度1千株）。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. 補足情報

（1）事業会社の主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
（ 2 0 2 5 年 3 月 期 実 績 ）

あすか製薬株式会社

（単位：百万円）

品 目 名	前 期 2024年3月期	当 期 2025年3月期	対前年増減率 (%)	次 期 2026年3月期
	年間実績	年間実績		年間見込
子宮筋腫・子宮内膜症治療剤 レルミナ	9,906	10,531	6.3	11,241
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	9,593	8,545	△ 10.9	7,112
甲状腺ホルモン剤 チラーヂン	7,862	8,113	3.2	8,628
月経困難症治療剤 ドロエチ	6,125	7,502	22.5	6,064
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	5,864	6,455	10.1	7,458
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	4,430	4,003	△ 9.6	3,814
月経困難症治療剤 フリウェル	3,303	3,149	△ 4.6	2,824
黄体ホルモン製剤 ルデウム	2,029	2,349	15.8	2,228
抗甲状腺剤 メルカゾール	1,521	1,567	3.0	1,629
高血圧症治療剤 アムロジピン	840	797	△ 5.1	756

※ カンデサルタン配合剤を含む

あすかアニマルヘルス株式会社

（単位：百万円）

事 業 分 野 名	前 期 2024年3月期	当 期 2025年3月期	対前年増減率 (%)	次 期 2026年3月期
	年間実績	年間実績		年間見込
飼料添加物、混合飼料、飼料原料	4,042	4,584	13.4	4,257
動物用医薬品	2,487	2,601	4.6	2,869

（2）臨床開発の状況

臨床開発状況

（2025年5月現在）

2025年5月12日

あすか製薬株式会社

区 分	（開発番号）	一 般 名	領 域・効 能	備 考
申請中	（LF111）	ドロスピレノン	避妊	Insud Pharma（スペイン）より導入
PhaseⅢ	（TRM-270）	癒着防止材	術後の腹腔内臓器癒着 防止 （消化器科・産婦人科）	東レ㈱との共同開発
PhaseⅢ ※1	（AKP-022）	レルゴリクス配合剤	子宮筋腫	武田薬品工業㈱より導入
PhaseⅡ	（AKP-009）	ルダテロン酢酸エステル	前立腺肥大症	杏林製薬㈱との共同開発
PhaseⅠ／Ⅱ ※2	（LPRI-CF113）	ドロスピレノン	月経困難症	Insud Pharma（スペイン）より導入
PhaseⅠ ※3	（AKP-021）	mPGES-1阻害剤	－	自社創製

前回からの変更点

※1 AKP-022：レルゴリクス配合錠につきましては、PhaseⅠ／Ⅱを終了し、現在PhaseⅢ実施中であります。

※2 LPRI-CF113:ドロスピレノンにつきましては、PhaseⅠ／Ⅱから臨床試験を開始しております。

※3 AKP-021:mPGES-1阻害剤につきましては、PhaseⅠから臨床試験を開始しております。

（3）〔連結〕設備投資、減価償却費、研究開発費

1．設備投資

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期※
通 期	1,540 百万円	2,700 百万円	(予) 2,590 百万円

2．減価償却費

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期※
通 期	2,662 百万円	2,247 百万円	(予) 2,709 百万円

3．研究開発費

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期※
通 期	4,728 百万円	7,031 百万円	(予) 5,402 百万円

※海外子会社は含んでおりません。